

# 山を愛するみなさまへ

## 地域に根差したアウトドアコミュニティ 「山學舎」開校に向けてクラウドファン ディングへのご支援をお願いいたします。



### ＼ 山に学び、山を学び、山で学ぶ /

私たち登山者にとって山はかけがえのない学校です。山に身を置くことで人生がより深く豊かなものになる。それは、山を愛する人々のまぎれもない実感ではないでしょうか。換言すれば、山は人間らしく生きるために欠くことのできない宝もの。この先も同様に私たちにとってかけがえのない存在であり続けることでしょう。そのためには、山を愛する人たちが手をつなぎ、山という大切な自然を守ってゆく必要があると考えます。



### ＼ 学びの場としての「山學舎」 /

私たちは、「学びの場」を立ち上げることを思い立ちました。インターネットを通じて会員を募り、山情報を配信し、実践的なワークショップを通じて登山に必要な知識や技術を伝え、共有する場。それを「学びの場」という意味を込めて「山學舎」と命名しました。このプロジェクトを通じて、先人たちから受け継いだ山の知識や技術を伝え、学ぶとともに山を愛する人たちの交流の場を作りたいと考えています。



### ＼ 九州に登山者のための「学びの場」を /

一方、先人たちが築き上げた登山の技術やルール、自然に対する知識や洞察を未来へ継承してゆくことも大切だと考えています。なぜなら、それらなくして安全な登山は語れないから。登山における知識・技術・情報は、なくてはならない命綱です。しかしながら、山の知識や技術を後世に伝えてきた組織は衰退し、現在、かつて山岳会や山の会が担っていた学びの場が急速に失われ、学びたくても学べない断絶の時代を迎えています。遭難事故が増え続けている一因もそうした点にあると考え、深い危惧を覚えています。今こそなんとかしなければ…。山の知識や技術を伝える場、学びの場を作れないものか…。



### ＼ 山學舎プロジェクトの主な目的 /

- ① 先人たちが築き上げた技術、自然に対する知識や洞察、山の文化を未来へ継承する
- ② 知識と技術を学び、山岳遭難事故を減らす
- ③ 登山者相互の交流の輪を広げ、自然保護への眼差しを育む

### ＼ 山學舎の主な活動内容 /

- ① 地域に根ざした役に立つ山情報の月一配信！
- ② 知識と技術を学ぶ実践的なワークショップの開催！
- ③ 交流の輪を広げるアウトドア・イベントの開催！



## ご支援をお願いします



しかしながら、私たちにはスポンサーもなく、資金力もありません。そこで、山を愛するみなさんの力をお借りし、活動費用の一部をクラウドファンディングで補うことにした次第です。ぜひ私たちのプロジェクトをご理解いただき、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。「山學舎」プロジェクトに関するクラウドファンディングの詳細につきましては、お手数ですが、下記 URL へのアクセスをお願いいたします。

 <https://camp-fire.jp/projects/view/362645>

＼ 詳細はコチラ /



詳細は左の QR コードをスマートフォンのカメラで読み取り確認いただけます。

山 學 舎 |

岩永正朗(代表)、中村真悟、米村奈穂、徳永哲哉

「山學舎」へのお問い合わせは、sangakusha2020@gmail.com まで。